



## 自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

7/22(火)

テーマ: 『職場の教養 入学式』

18社18名

講師: 松戸市中央倫理法人会相談役 道畑 勝美 氏



Katsumi Michihata

即行即止は成功の秘訣。松本清さんの「すぐやる課」、どう思いますか?という道畑氏。

道畑氏は島根県大田市の山の中で生まれ育った。昨年、日本初の産業遺産として世界遺産に登録された石見銀山がある場所だ。

働く場所も、学校もない。初めはガス会社に勤めるが、兄が経営していた消防設備の会社を手伝うことになる。

消防設備は未経験分野だったが、懸命に働き、小さな土地を購入。看板屋での打合せの際に、倫理を紹介された。

その看板屋では、社員がきちっと立ち止まって挨拶する。一体どのような社員教育をしたいのか尋ねたところ、職場の教養を見せてくれた。入会金1万円を払えば30冊もらえるという。

### 1. 自分と正反対のことばかり?でも、心にひっかかった。

ある冬の寒い時期、流山市のMSに行ってみた。知り合いがいなくて心細かった。船橋倫理会館設立に寄付の依頼もあり、新興宗教かと疑った。葉や職場の教養も、確かに良いことが書いてあるとは思ったが、当時の自分には訳が分からない部分も多かった。それは講話を聴いても、同じだった。

「結婚式のお祝いで、3万円包もうと思ったら5万円包みなさい。足し算で行きなさい。出せば入ってくるのです」、「素直・感謝が、商売を繁盛させるのです」などなど。そんなことで儲かるはずがないと思った。

だが、それでも何か、心にひっかかる。「今の自分と正反対のことばかり言われている。ちょっと待てよ」。2年間流山市に通った。やがて、松戸市に倫理法人会を創ることになり、道畑氏は専任幹事として、会長と毎日のようにやりとりをしながら、倫理と商売の2本立てで頑張った。今、松戸市には3つの倫理法人会がある。

### 2. ある社員に教えられたこと

優秀な人材は大手に行ってしまう。求人でも苦勞をしていた時に、高校の先生から、「うちの生徒を一人、面倒みてくれないか」と頼まれた。夏休みに1か月、アルバイトとして預かった。8時出勤で、トイレ・道路・ゴミ掃除に加え、キツイ仕事も課したが、無事勤め上げた彼は、「ぜひ働かせてもらいたい」という。採用に当たり、作文を書いてもらった。

#### 『私の母』

(僕の母は、今41歳。両親は小学校6年の時に離婚しました。ストレスが溜まってきて、精神が不安定になりました。悪友とつるむようになり、度々学校に母が呼ばれました。母はこの状況をなんとかしようと、父と再婚しましたが、結局また別れ、ここに引っ越してきました。いつでも、最後まで自分の味方をしてくれた母。これからは一生懸命働いて、母に楽をさせてあげたいと思います。)

3月下旬に入社した彼は、4月8日の朝礼で、職場の教養読んだ。

#### 『入学式』

(春になると、一人寂しかった入学式を思い出す。母は亡くなり、父は仕事が忙しく、一人で行った入学式。自分も母となり、今日、長女の手を引いて入学式に行くと、小さな手のぬくもりから母の気持ちを感じた。一緒に行けなかった母、もっと辛かっただろう。今日のこと、喜んでくれていたはず。なんてありがたいのだろう。)

彼は、職場の教養を持ったまま、下を向いて泣いていた。社員ももらい泣き、道畑氏も胸がいっぱいになった。「長いこと20数年倫理をやってきて、初めての体験。儲けは後からついてくる、素直・感謝で商売繁盛する、やっと少しわかってきた。日々の実践の積み重ねを大切にしていきたい」と話してくれた。

## 次回 第888回MS! 8/5(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-7777)

テーマ

自主企画「ゴミは宝物~世の中を変えるには、自分自身が変わらずにいること~」

講師

DJ KOUSAKU 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく